

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-000-81-2	2024通年	医学教育部(26050)	1, 2, 3, 4	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
医療情報・救急災害医学理論 (2023年度以降入学用)【Medical Informatics, Emergency and Disaster Medicine】(B9 医療情報学、救急医学、災害医学に習熟する。)			笠岡 俊志、中村 太志、入江 弘基		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力……25% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力……25% 3.グローバルな視野と行動力……25% 4.地域社会を牽引するリーダー力……25%					
授業の形態	講義				
授業の方法	e-Learningまたは対面授業で、PowerPointやMoodleを利用する。論文精読も予定している。				
授業の目的	医療情報・救急災害医学理論では、医療における様々な情報を正しく利用するとともに、全人的アプローチが求められる救急医療や災害医療に関する基礎知識の獲得を目指す。				
学修目標	【A水準】 医療情報学、救急医学、災害医学について学び、実践的な内容を説明できるようになる。 【C水準】 医療情報学、救急医学、災害医学について学び、要点を説明できるようになる。				
授業の概要	医療情報学では、医療情報システムと情報処理、救急災害時における情報連携などについて学ぶ。 救急医学では、救急医療システムや外傷初期診療について学ぶ。 災害医学では、災害時の医療対応や心停止後症候群への対応について学ぶ。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1	06/12	4時限 中村 太志 医療情報学① 医療情報学総論 [e-L]	「医療情報学総論」 医療情報システムと情報処理		
2	06/19	4時限 中村 太志 医療情報学② 地域医療連携 [e-L]	「地域医療連携」 KMNや救急災害時における情報連携		
3	06/26	4時限 中村 太志 医療情報学③ 医療Dx [e-L]	「医療Dx」 データの標準化と二次利用		
4	07/03	4時限 笠岡 俊志 災害医学① 心停止後症候群 [e-L]	心停止後症候群、心肺蘇生		
5	07/10	4時限 笠岡 俊志 災害医学② 災害医療総論 [e-L]	災害医療総論、トリアージ		
6	07/17	4時限 笠岡 俊志 災害医学③ 災害医療各論 [e-L]	災害医療各論、自然災害と人的被害		
7	07/24	4時限 入江 弘基 救急医学① 救急医療体制 [e-L]	救急医療体制(病院前～入院まで)：救急救命士の活動と院内の受け入れ体制		
8	07/31	4時限 入江 弘基 救急医学② 救急医学各論 [e-L]	救急医学各論 外傷初期診療		
授業外学修時間の目安	本科目は、45時間の学修が必要な内容で、授業は12時間分であり、33時間分相当の課題等での事前・事後学修が、授業の理解を深めるために必要である。				
テキスト	特に指定はせず、講義のポイントをまとめた資料をmoodleにて配布する。				
参考文献	講義の中で適宜紹介する。				
履修条件	特に設けない。				
評価方法・基準	講義への取り組み、講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度、E-Learningの受講状況などをあわせて総合的に評価する。				
使用言語	「日本語」による授業(日本語)				
教科書・資料の言語	「日本語」のテキスト(指定しない)				
実務経験を活かした授業	該当(病院情報システム、救急医療、災害医療に精通した教員が担当分野の講義を行う。)				